

渡良瀬川だより

No. 218

令和7年1月6日発行

国土交通省 関東地方整備局

渡良瀬川河川事務所 地域広報官

「地域とともに歩む渡良瀬川流域」を目指して

渡良瀬川河川事務所長 荒井 満



令和7年という新年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
 本年も、渡良瀬川河川事務所が取り組む様々な事業・施策に対する皆様の変わらぬご理解とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。
 去年は、元日の能登半島地震、7月の秋田・山形、9月の奥能登の豪雨災害をはじめ全国各地で自然災害が発生し甚大な被害をもたらしました。改めまして、心からのお悔やみと一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

幸いにも渡良瀬川流域においては、大過なく令和6年を過ごすことが出来ました。本年も引き続き、地域の皆様の“いのちとくらし”を守り、安全・安心を確保するためのインフラ整備、魅力ある水辺空間や賑わいの創出による地域活性化を目指してまいります。

具体には、中橋の架替事業について、地域の皆さまのご理解・ご協力、関係する方々のご尽力を得ながら安全かつ着実に事業執行を図ってまいります。また、渡良瀬川下流部における堤防の嵩上・拡幅及び支川旗川の改修、河川区域内の適正な維持管理、さらには、砂防事業として、足尾地区における山腹工及び既設砂防堰堤の改築、渡良瀬川本川および支川における床固群の整備などを進めてまいります。加えて、渡良瀬川を活用した“河川空間”と“まち空間”が融合した「良好な空間形成」を目指して、足利市と協働で「かわまちづくり支援制度」を活用した取組を進めてまいります。

これらの事業を着実に進めていく所存ではありますが、洪水に対する安全度向上、国土強靱化は道半ばであります。全国的に激甚化・頻発化する自然災害、インフラ施設の老朽化、あるいは気候変動の影響による降雨量の増大などに備え、より計画的・総合的に防災・減災、国土強靱化に取り組んでいかなければなりません。流域内の施設、地域が持つ潜在力の活用及び流域に関わるあらゆる関係者と協働して流域全体で水災害を防止若しくは軽減させる「流域治水」の取組も加速化・深化させてまいります。

今後も、地域の皆様と丁寧にして誠実に対話をし、ひとつひとつの声をよく聞き、真摯に受け止め、現場と私共の持つ“力”と向き合いながら、事業・施策の実行に全力で取り組み、「地域とともに歩む渡良瀬川流域」を目指してまいります。

結びに、引き続き関係する皆様方の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げるとともに、令和7年が皆様にとって幸多き年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



中橋架替の様子

工事等安全協議会総会について

11月19日（火）「令和6年度 渡良瀬川工事等安全協議会総会」を足利商工会議所友愛会館わたらせホールにて開催し、職員及び工事・業務の受注関係者約100人が出席しました。

渡良瀬川工事等安全協議会は渡良瀬川河川事務所発注工事において、労働災害や公衆災害等を未然に防止し、かつ労働者の安全衛生及び職場環境の向上を図り、工事の円滑な実施を図ることを目的としています。

総会では、桐生労働基準監督署労働基準監督官から「土木工事における労働災害について」講演をいただき、その後、工事事故の現状と対策等の説明があり参加者は安全管理の重要性を再認識していました。



荒井事務所長挨拶



会場の様子

工事等安全施工研究発表会について

12月13日（金）「第26回渡良瀬川工事安全施工研究発表会」を足利商工会議所友愛会館わたらせホールにて開催しました。

職員及び工事や業務の受注関係者約100名が出席し、佐野河川、足利、桐生、大間々砂防、足尾砂防の5出張所より推薦された5名が現場で培った経験を元に安全に対する創意工夫について互いに発表しあい、その貴重な情報を共有し、意見交換をしました。渡良瀬川河川事務所では、工事の無事故、無災害に取り組んでいきます。

表彰一覧

～最優秀賞～

R5旗川左岸高橋町地先低水護岸工事における安全対策について

岩澤建設（株）

渡邊 逸真

～優秀賞～

R5松木山腹工（畑之沢）工事における安全対策について

（株）佐藤組

野崎 勝也



発表者との記念写真

わたらせリバープラザ グランドオープン

令和6年12月1日、本町緑地地区（足利市栄町2丁目）に合同会社コネクトわたらせにより、観光交流施設「わたらせリバープラザ」がグランドオープンしました。

当地区では、「かわまちづくり支援制度」により国で造成したスペースを、栃木県では初となる「都市・地域再生等利用区域」に指定し、官民一体となって整備を進めてきました。

今後、河川空間とまち空間を繋ぐ賑わいの拠点として発展していくことを期待しています。



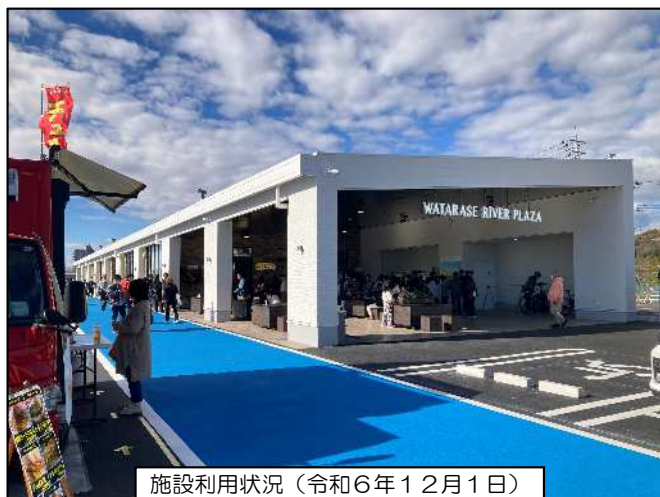
整備前

※公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、施設整備と運営を行う事業者を選定（足利市）



整備後
・平場造成等（国）
・施設整備※（市）

【施設概要】
バーガーショップ、産直売場、職場体験ゾーン、
キッズスペース、サイクリスト休憩所 など



施設利用状況（令和6年12月1日）

（担当 流域治水課）

堤防点検の実施について

堤防は、台風や豪雨による洪水から地域を守る重要な施設であり、地域の安全を守るためには亀裂や陥没などの損傷がないようにする必要があります。

渡良瀬川河川事務所では、堤防の状態を確認するため、10月から11月にかけて職員により堤防点検を実施しています。新たな損傷箇所を発見するとともに、過去の損傷箇所の変化や修繕状況も確認することとしています。

なお点検時には、豊富な経験を持つ防災エキスパートの方々にも同行いただいております。過去の災害経験談や損傷箇所の対策方法などのアドバイスをいただくことで職員の技術力向上にも繋がっています。



きつねの巣穴



中橋架替 進行中です

渡良瀬川に架かる現在の中橋付近では、堤防が低くなっており、治水安全度が低くなっています。そこで、令和3年度より国・県・市が連携し架け替え工事を進めています。

このたび中橋の3連アーチが移設されるのを前に、令和6年10月14日、中橋付近でイベント「ありがとう中橋！～いよいよ生まれ変わる中橋～」を実施しました。

渡良瀬川河川事務所では事業概要パネル展示を行い、当イベント全体で約4000人の来場がありました。



オープニングセレモニー



中橋関係パネル展示



参加者で賑わう様子

また、令和6年12月2日をもって、中橋は全面通行止めとなりました。今後、歩行者と自転車は下流に設けられた仮設通路を通行することになります。（車の通行はできません。田中橋や渡良瀬橋などへの迂回をお願いします。）

令和7年春ごろには3連アーチが移設され、歩行者と自転車の通行が再開される予定です。



仮設通路

わたらせ 川のふれあい館「せせら」

わたらせ 川のふれあい館「せせら」では、企画展「『流域治水』を自分事化へ～みんなのアクションで流域全体を安全に～」を実施中です。

冬こそみんなで「せせら」に行こう！みなさまのご来館をお待ちしております。

■開催期間：令和7年3月30日まで

■入場料：無料

■休館日：毎週月・木曜日（祝日の場合はその翌日）

（担当 総務課）



国土交通省関東地方整備局

渡良瀬川河川事務所

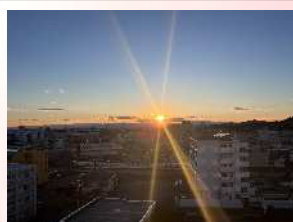
〒326-0822

栃木県足利市田中町661-3

<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

TEL：0284（73）5551

FAX：0284（73）8504



事務所からの夕日（6.12.23）

紙面についてのご意見や感想をお待ちしています。
パソコンからは渡良瀬川河川事務所ホームページの「お問い合わせ」からご投稿いただけます。
電話・FAXは左記番号へ、郵便の場合は左記住所「渡良瀬川河川事務所地域広報官」宛をお願いします。

川の防災情報

リアルタイムの雨量と
水位を知りたい時は

<https://www.river.go.jp>

